



ビジネスレポート Vol. 15

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



Contents

- 1 トップメッセージ
- 2 中期経営計画
- 2-3 トピックス
セメント事業等の統合で合意 ほか
- 4 連結業績ハイライト
- 裏表紙 会社情報・株式情報



宇部興産採用チーム
公式アカウント @ube_recruiting

山口県防府市の鯉のぼり。大空
ではなく水中を泳ぐ、佐波川の
鯉のぼり。



宇部興産株式会社

証券コード 4208

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第114期(2020年3月期)のビジネスレポートをお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の業績

中期経営計画「Vision UBE 2025 ~Prime Phase~」の初年度となる当期の業績につきましては、米中貿易摩擦に端を発した中国経済の減速等により、化学部門や機械部門において需要の減退や市況悪化の影響を受けたこと、また建設資材部門で国内需要が低調に推移したことなどから、売上高は前期を下回りました。また、損益面におきましても、石炭等の原燃料価格が下落したものの、特に需給悪化の影響を大きく受けた化学部門を中心に減益となりました。



代表取締役社長

泉原 雅人

配当について

当社は財務の健全性の維持・向上、および将来の投資に備えた自己資本の充実を図りながら、株主の皆様へ安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。

当期の期末配当は、1株あたり45円といたしました。中間期に実施した1株あたり45円の配当と合わせ、年間1株あたり90円の配当となります。

また、次期につきましては、年間1株あたり90円の配当を予定しておりますが、中間配当の実施につきましては、現時点では未定です。

経営方針

120年を超える歴史を刻む当社グループは、下記の経営理念と経営方針に基づき、未来につながる、新たな価値を創出するための事業活動をグローバルに展開するとともに、ESG（環境・社会・コーポレートガバナンス）への取り組みを一層充実し、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

また、株主の皆様をはじめ顧客、取引先、従業員や地域社会等のあらゆるステークホルダー、さらには地球環境との共生を実践し、これらに貢献する価値創出企業であり続けます。

〈経営理念〉

技術の探求と革新の心で、
未来につながる価値を創出し、
社会の発展に貢献します

〈経営方針〉

【倫理】

高い倫理観を保ち、法令および社会規範を遵守します

【安全と安心】

地球環境保全に努め、安全・安心なものづくりを行います

【品質】

お客様と社会の信頼に応える品質をお届けします

【人】

個性と多様性を尊重し、健康で働きやすい職場をつくります

●長期ビジョン「Vision UBE 2025」

2025年のありたい姿

「すべてのステークホルダーに価値を創出し続ける企業」

UBEグループは市場ニーズを先取りし、環境に調和した製品・サービスを創り出し、グローバルに存在感を発揮する企業として社会とすべてのステークホルダーに貢献します。

「2025年のありたい姿」を実現するための方向性

これまでの3カンパニー・2事業部の事業単位を3カンパニー体制に集約し、下記のとおりそれぞれの位置付けを明確にするとともに、自立した事業運営の促進と迅速な意思決定を図ります。

3カンパニーの位置付け

- 化学カンパニー**：収益の安定性を高め、グループ全体の成長を牽引する。
- 建設資材カンパニー**：安定的な利益・キャッシュフローを創出し、新たな事業の拡大を進める。
- 機械カンパニー**：事業特性に合致した運営を推進するとともに、事業価値を高める。

●UBEグループ中期経営計画「Vision UBE 2025 ～Prime Phase～」

基本方針

▶事業の成長基盤強化 ▶経営基盤(ガバナンス)の強化 ▶資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献

数値目標(2021年度)

主要項目	営業利益	550億円	経営指標	売上高営業利益率(ROS)	7%
	経常利益	580億円		自己資本利益率(ROE)	10%

2019年度 トピックス一覧

- 2019**
- 4月** 【全社】 経営理念および経営方針を刷新
 - 4月** 【全社】 当社のYouTube動画第5弾「宇部興産専用道路篇」を公開
 - 5月** 【化学】 第五医薬品工場の建設を決定
 - 5月** 【全社】 中期経営計画「Vision UBE 2025 ～Prime Phase～」を発表
 - 5月** 【化学】 タイ子会社でPCD製造設備の増強に着手
 - 6月** 【全社】 出光興産株式会社、日揮グループと二酸化炭素の固定化と利用に関する新技術開発を目的とした研究会設立を発表
 - 8月** 【化学】 日揮グループ、荏原環境プラント株式会社、昭和電工株式会社と廃プラスチックのガス化ケミカルリサイクル推進に向けた協業の検討を開始
 - 8月** 【全社】 「統合報告書2019」を発行
 - 8月** 【化学】 京セラ株式会社と5G基地局用セラミックフィルタの合併会社設立に合意
 - 9月** 【機械】 宇部興産機械(株)、設立20周年の記念行事を開催
 - 9月** 【全社】 「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言を提出
 - 9月** 【全社】 第28回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)に協賛
 - 11月** 【化学】 ノボ ノルディスク社(デンマーク)に非アルコール性脂肪肝炎治療薬候補化合物の独占的ライセンスを供与
 - 11月** 【化学】 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学と研究開発等において包括的連携基本合意書を締結……………**①**
- 2020**
- 1月** 【機械】 宇部興産機械(株)、射出成形機の新シリーズ「emⅢ」を販売開始
 - 2月** 【機械】 宇部興産機械(株)、射出成形機事業のグループ内再編を実施……………**②**
 - 2月** 【建設】 三菱マテリアル株式会社とセメント事業等の統合に関する基本合意書を締結……………**③**
 - 3月** 【全社】 宇部興産開発(株)が運営するゴルフ場事業を譲渡……………**④**
 - 3月** 【機械】 宇部興産機械(株)が株式会社日立プラントメカニクスから化学機器事業を承継
 - 3月** 【化学】 三菱ケミカル株式会社とリチウムイオン電池用電解液事業で合併契約締結

1 山口東京理科大学と 研究開発等において包括的連携基本合意

山陽小野田市立山口東京理科大学と協力して取り組むべき新たな技術の研究開発や人的交流を進めるため、「包括的連携に関する基本合意書」を締結いたしました。「共同研究・受託研究等の推進」「研究者や技術者の人的交流」「学生に対するインターンシップ等の現地学習」の3つを中心に連携を図ります。また、共同研究実施の第一弾として、多孔膜素材を用いた培養幹細胞の長期維持機構の解明に関する研究を開始いたしました。



左から当社泉原社長、藤田山陽小野田市長、池北山口東京理科大学理事長

2 射出成形機事業の再編を決定

射出成形機事業再編の一環として、宇部興産機械(株)がU-MHIプラテック(株)およびU&Mプラスチックソリューションズ(株)を吸収合併することを決定しました。併せて、北米子会社のUBE MACHINERY INC.およびU-MHI PLATECH AMERICA, INC.の合併も決定。再編時期は2020年8月です。この再編により、グローバル市場でのさらなる事業拡大を目指し、製品開発・製造・サービスを一段と強化することで、お客様へ新たな価値を提供します。



8月稼働予定の大江新工場

3 セメント事業等の統合で合意

三菱マテリアル株式会社とセメント事業およびその関連事業等を統合することにに向けた協議・検討を開始することで、基本合意しました。2020年9月末をめどに統合に関する最終契約書を締結し、2022年4月統合の予定です。事業環境が大きく変化している業界において、両社のセメント事業の成長のため、従来の関係を発展させた新たな体制構築をすべく新会社を設立します。新会社では、国内セメント事業で創出されるキャッシュフローを国内外の成長事業に集中的に投下し、社会インフラの整備および循環型社会の発展に貢献する企業として持続的な成長を目指します。



伊佐セメント工場全景

4 ゴルフ場事業を譲渡

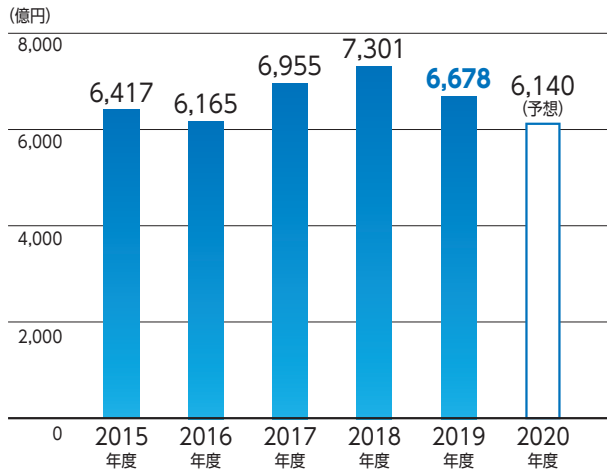
宇部興産開発(株)が運営するゴルフ場事業を市川興業株式会社に譲渡しました。宇部72カントリークラブは、1960年の営業開始以来、4コースを有する西日本最大級のゴルフ場として発展し、数々のトーナメントも開催されてきましたが、国内のゴルフ人口の減少等厳しい事業環境が見込まれることから、利用者の皆様へのさらなるサービス向上と本事業の中長期的な発展を図るため、ゴルフ場経営を主要事業とする市川興業株式会社に譲渡しました。



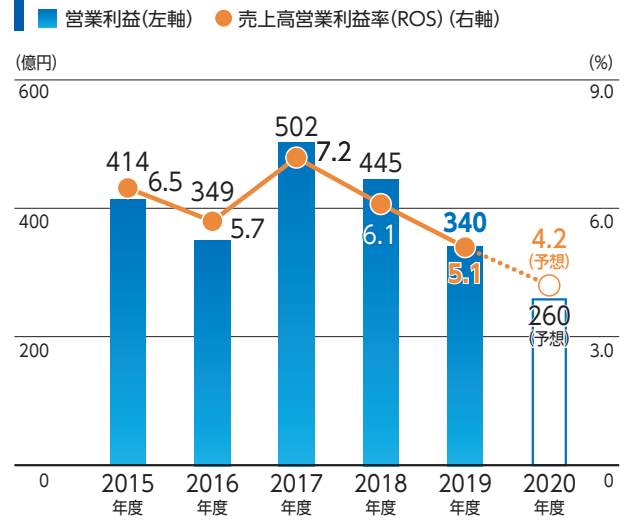
宇部72カントリークラブ

連結業績ハイライト

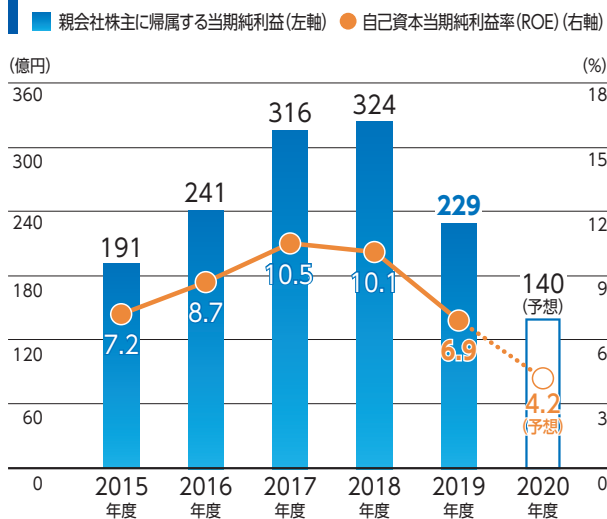
売上高



営業利益と売上高営業利益率 (ROS)

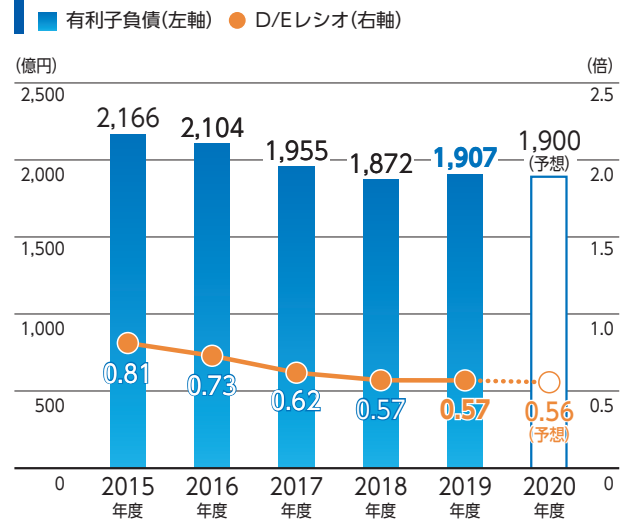


親会社株主に帰属する当期純利益と自己資本当期純利益率(ROE)*



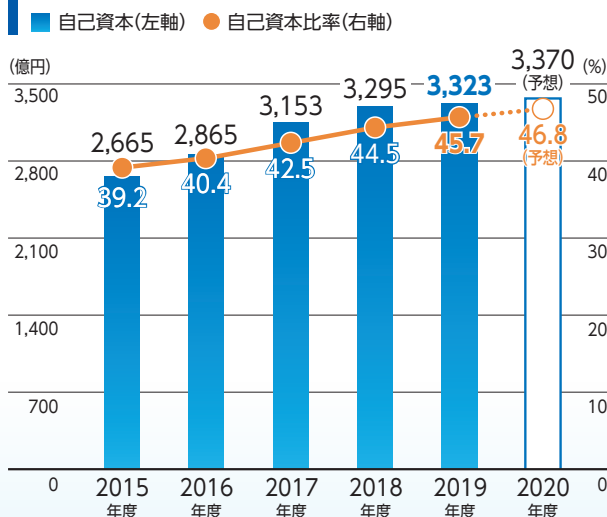
*自己資本当期純利益率(ROE) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

有利子負債とD/Eレシオ*



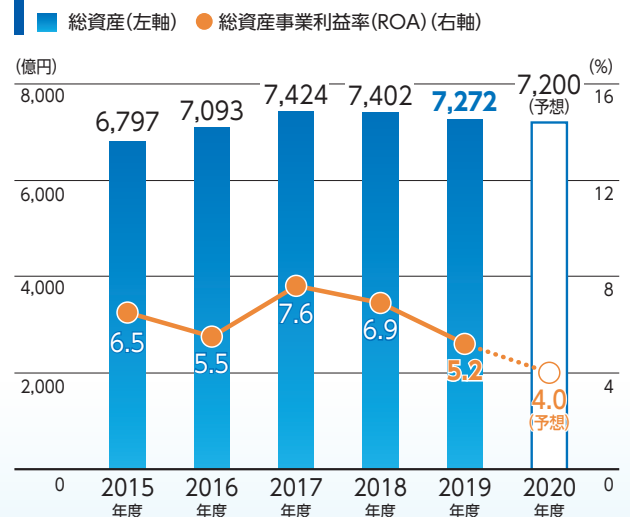
*D/Eレシオ = 有利子負債 / 自己資本

自己資本と自己資本比率*



*自己資本比率 = 自己資本 (=純資産-新株予約権-非支配株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率 (ROA)*



*総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 (=営業利益+受取利息+受取配当金+持分法投資損益) / 総資産

会社情報・株式情報

会社概要 (2020年3月31日現在)

設立	1942 (昭和17)年3月
資本金	58,435百万円
従業員数	3,329人 (連結 10,890人)
連結対象会社	95社 (連結子会社69社、持分法適用会社26社)

新役員 (2020年6月26日現在)

取締役会長	山本 謙
代表取締役社長	泉原雅人
代表取締役	小山 誠
取締役	藤井正幸
社外取締役	照井恵光
社外取締役	東 哲郎
取締役監査等委員	山元 篤
社外取締役監査等委員	落合誠一
社外取締役監査等委員	庄田 隆



山本 謙



泉原雅人



小山 誠



藤井正幸



照井恵光



東 哲郎



山元 篤



落合誠一



庄田 隆

IRカレンダー (2020年6月~2021年5月)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	電子公告 (http://www.ube.co.jp)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	郵送先 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様 のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない 株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部	
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部	
その他株式事務について	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部	

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社

証券会社とのお取引がない株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711

宇部興産株式会社

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館
宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96



※本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますをご承知おきください。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。